

ロボカップジュニア2011イスタンブール世界大会までの道のり



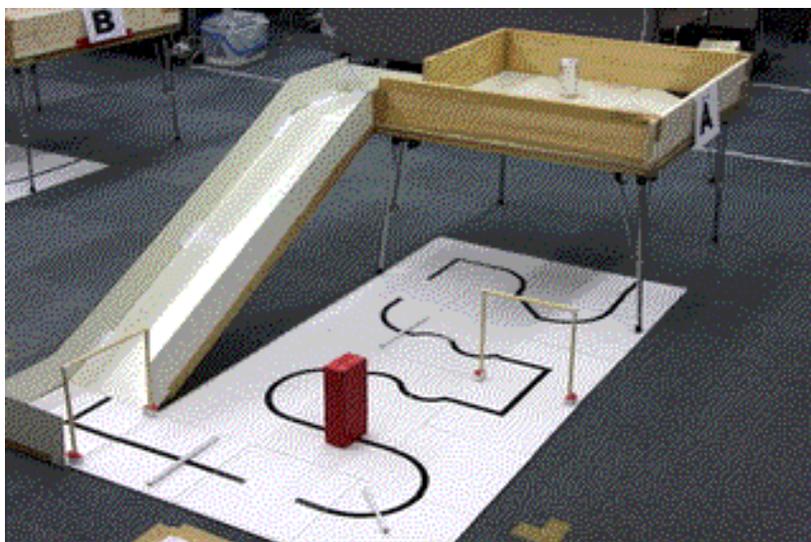
ロボカップジュニアとは

ロボカップとは「西暦2050年までに、人間のサッカー世界チャンピオンチームに勝てるロボットチームを作る!」という、世界の人々に分かりやすい、夢のある目標を掲げる事によって、真に人間社会に役立つロボット技術を育成することを目的とした、ユニークな国際プロジェクトで、世界35カ国から競技者が集います。その中の位置づけとしてジュニア部門があり子ども達の好奇心や探求心を引き出し挑戦(チャレンジ)できる3種類の競技テーマ(サッカーチャレンジ、レスキューチャレンジ、ダンスチャレンジ)があり、毎年約2500名が国内競技会に参加をしています。

また、この大会は国内にあるロボット競技会の中で唯一、国際科学技術コンテスト(支援:独立行政法人科学技術振興機構)に認定されています。

レスキューA競技とは

レスキューチャレンジは、ロボットが自分で周りの状況を判断し、様々な障害をのりこえながら、被災者を見つけて避難場所へ誘導する競技です。



アリーナという1階、2階のコース内に黒いラインが引いてありロボットはそこを通り走ります。1階にはラインの途中に障害物があったり、ラインがとぎれていたり、がれきという細かい障害などがあります。ラインを見失わず走りきるとクリアとなります。1階をクリアすると25°の急勾配があり、登り切ると2階のアリーナがあります。2階のアリーナは被災者に見立てた空き缶をアルミホイールで覆った被災者と、細かい障害物がたくさんありラインは引かれていません。ロボットはその被災者を捜し出しアリーナ角の5

0mm高くなっている待避場所へ持ち上げたらコースクリアとなります。全体の持ち時間は8分間でその間にクリアしなければなりません。

コースや課題の難易度により2種類にクラス分けされています。

- ・プライマリ（小学生～中学2年生まで）
- ・セカンダリ（中学3年生～高校3年生（19歳）まで）

ロボカップジュニア2011大会について

本校より参加したチームDaydreamers（3年3組 鈴木 孝、高橋 亮太）が地区ノード大会から参加をし、以下の成績を残しました。

4/10（日）東東京ノード大会2011

（東京23区内に活動拠点を置いているチーム）

開催場所・・・川崎生涯学習プラザ

レスキューA（セカンダリ）準優勝

※上位3チームが関東ブロック大会へ推薦される。

4/24（日）関東ブロック大会2011

（東東京・西東京・神奈川・埼玉・千葉・茨城・栃木・群馬

に活動拠点を置いているチーム）

開催場所・・・埼玉大学

レスキューA（セカンダリ）優勝

※上位3チームがジャパンオープン大会へ推薦される。

5/4（水）、5（木）ロボカップジャパンオープン2011大阪

（全国のブロック大会を勝ち進んだ35チームが参加）

開催場所・・・インテックス大阪

レスキューA（セカンダリ）準優勝

※上位3チームが日本代表チームとして世界大会へ推薦される。

ロボカップ2011イスタンブール世界大会について

会 期：2011年7月5日～10日

場 所：The Istanbul Expo Center

（トルコ イスタンブール）

- ・ロボカップジュニア東東京ノード <http://blog.goo.ne.jp/east--tokyo>
- ・ロボカップジュニア関東ブロック <http://rcjj-kanto.org/news.html>
- ・ロボカップジュニアジャパン <http://www.robocupjunior.jp/>
- ・ロボカップジャパンオープン2011大阪 <http://www.robocup-japanopen.org/>
- ・ロボカップジャパンオープン参加者サポートサイト

http://www2.klinikos.edu.saitama-u.ac.jp/~tairo/rcjj/com3/htdocs/index.php?page_id=38

- ・イスタンブール世界大会 <http://www.robocup2011.org/en/>

ロボカップジャパンオープン2011大阪

